

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2024年3月18日

回答率 保護者18/25・職員8/8

事業所名：放課後等デイサービス さくら

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	6	2	0	・パーティションを使いスペースの確保の工夫を行っています。個室エリアを増築し、スペースは確保されています。	17	1	0	0	・スペースに応じた活動や、人数について考えていきます。
	2 職員の適切な配置	6	2	0	・配置基準より多くの保育士を配置しています。	15	0	0	3	・近頃、施設内を見る機会がありませんでした。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	5	3	0	・目的別に活動スペースを分け、特性に応じた環境整備を行うよう工夫しています。建物入口にはスロープを設置しています。	17	1	0	0	・障害特性に応じたわかりやすい環境の整備に努めます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	8	0	0	・掃除や消毒などをこまめに行い、清潔で快適に過ごせるよう努めています。・感染症対策として、換気や消毒を心がけています。	16	2	0	0	・雰囲気が明るくきれいな建物でいいです。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	8	0	0	・毎月のスタッフ会にて意見交換し事業所の問題解決に向けた取り組みを行っています。					・今後も事業所の課題に、職員全員で考え取り組んでいきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	0	8	0	・第三者による外部評価を実施できていません。					・今後、検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	6	2	0	・年間を通して、各種研修に参加しています。					・年間計画を作成し、研修を行っています。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	6	2	0	・保護者や児童・職員・関係機関から情報の収集を行い、一人一人にあった個別支援計画の作成に努めている。	17	1	0	0	・聞き取りを丁寧に行いニーズや課題に基づいて計画を作成します。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	8	0	0	・ガイドラインをもとにして、具体的な支援内容を記載しています。	17	0	0	1	・どこまで個人に合わせた支援や配慮があるかわからない。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標			
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見	
提供	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成		7	1	0	・個々の状況に合わせて、個別活動・集団活動を組み合わせ、計画を作成しています。	/	/	/	/	



区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	7	1	0	・園から学校への移行のためのケース会議に参加したり、支援について書面でお伝えするなど情報共有を図っています。	/	/	/	/	・情報の共有に努めます。	
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	6	2	0	・生活介護事業所・就労継続・就労移行支援事業所へ移行時には、情報共有を行っています。	/	/	/	/	・情報の共有に努めます。	
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	6	1	1	・市の連絡会に参加しています。研修にも積極的に参加させていただいています。	/	/	/	/	・研修で専門的な知識を身に付けられるようにしていきます。	
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	2	2	4	・交流を考えてはいるが、実施できていない。法人内の保育園との交流も考えていきたいです。	6	0	1	11	・今後の検討課題です。	
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	2	3	3	・今年度は交流の機会がありませんでした。今後は地域の方との交流を積極的に行いたいと思います。	/	/	/	/	・今後、機会を見つけて交流ができるようにしていきます。	
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	7	1	0	・契約時に、重要事項説明書にて詳しく説明をさせていただいています。また、実費負担が発生する場合はお手紙等で連絡を行っています。	18	0	0	0	・テイクアウトやお買い物体験の時には、お便りでわかりやすく書いてくれている。	・契約時だけでなく、日々の利用時にも丁寧に説明をしていくようにします。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	8	0	0	・計画作成時は、計画書を見て頂きながら説明を行っています。	16	1	0	1		・支援内容をご家庭と共有できるよう、一層努めていきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	2	3	3	・保護者向けの勉強会やペアレント・トレーニングのようにプログラム化された支援はできていませんが、ご家族から相談があった際に助言をしています。	13	1	0	4		・スタッフが家族支援をはじめとする研修に参加し、スキルアップを目指していきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	7	1	0	17	1	0	0	・送迎時にその日の様子や活動内容などを伝えてくれる。 ・連絡帳でその日の課題や遊びの様子を知らせてくれてよくわかる。	・スタッフから積極的にお声掛けをして機会を設け、お子さんの状態や課題を共有できるように工夫していきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	6	2	0	14	3	1	0	・必要に応じて相談を受けた場合には面談を設けている。電話やLINEなどを使っていつでも相談できる環境を整えています。	・相談のきっかけがつかめるようにはたらきかけを行い、気軽に相談していただけるようにしていきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	0	2	6	4	2	3	9	・実施できていない。今後、開催の検討を行っていきます。	・勉強会や交流会を計画し、保護者同士の交流ができる機会を作ります。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	7	1	0	14	0	0	4	・速やかに管理者に報告・対応を行っている。また、内容に関しては職員間で共有を行い、改善策の検討を行っています。	・頂いたご意見や苦情には速やかに対応していきます。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	8	0	0	16	1	0	1	・必要な場合には、視覚的な方法を使い、誤解のないように配慮を行っています。	・お子さんへの視覚的な支援を丁寧に行うとともに、保護者にお伝えする場合もわかりやすく工夫していきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	8	0	0	18	0	0	0	・年間6回 さくらだよりの発行 またマチコミにて情報発信を行っています。今後、ホームページなどを活用し活動の内容について発信したいと思っています。	・お便りを活用したり、ホームページも掲示し情報発信を行っていきたくと思います。
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	8	0	0	17	0	0	1	・個人の情報、記録等は適正に管理し、外部との情報共有についても事前に同意を頂いています。	・引き続き個人情報の適切な管理を徹底します。	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	6	2	0	15	0	0	3	・よくわからない。	・来所時にマニュアルを見て頂けるように整備していきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	8	0	0	10	1	0	7	・年2回以上の避難訓練を実施し、職員間で防災に関する研修を行っている。	・訓練の実施予定や結果について、丁寧にお伝えしていくようにします。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
非常時等の 対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	8	0	0	・内部研修を行い、虐待防止の研修機会の確保をしています。						・スタッフに対する研修の実施を行い、日々の支援の振り返りを丁寧に行います。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	8	0	0	・必要な判断として緊急性・一時的・非代替性などを考えてサービスに取り組む。また、内部研修を行っています。						
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	0	0	8	・医師の指導者がある児童は現在利用していませんが、事前にご家族から伺っている情報に注意して、クッキングやおやつを提供を行っています。						
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	8	0	0	・ヒヤリハット報告書の作成は行っているものの、十分に共有が出来ていないことがあります。今後、十分な情報共有に努めていきます。						・事例をもとに支援や環境を見直して、共有を図ります。